

TITLE

APR.

タイ

定価 58

ジャパン・プロダクトの現在・過去・未来

平成17年4月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第4号 平成12年11月24日第三

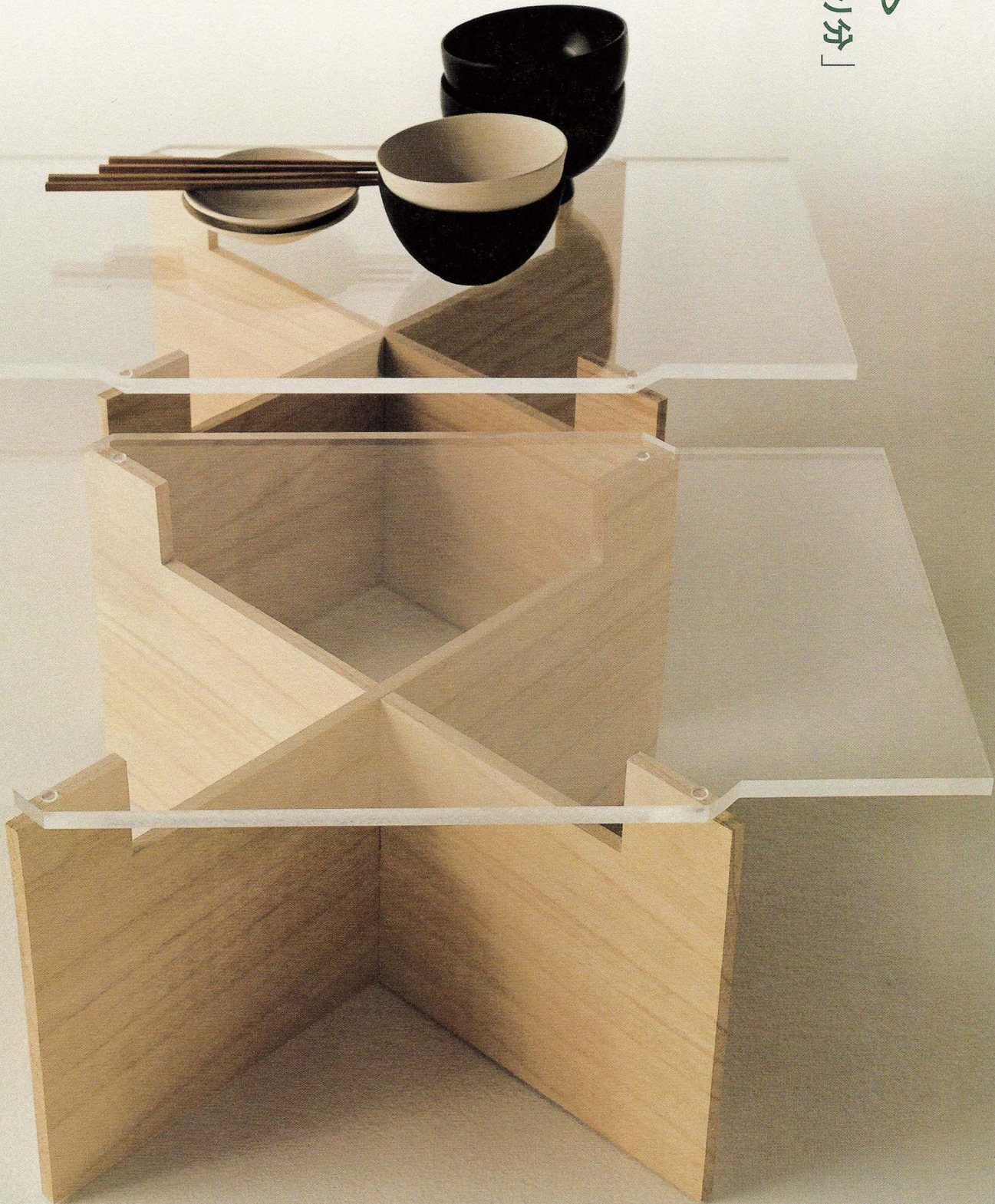
グッドデザインで あそぼう!

東急ハンズ × 7組のクリエイター
作れるデザイン
プロダクト



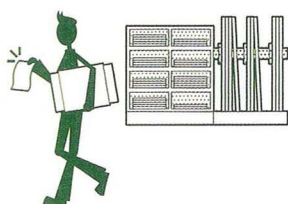
Book in Book

『アビエーター』
話題の映画
徹底解剖!



桐の集成材の脚台に、アクリルの天板。高級漆器や作家ものの陶器もよく似合う、絶妙なバランスの美しいデザイン・プロダクト。が、その正体は、手作りなのに楽しんでできちゃう、お手軽ハンズ・プロダクト!?

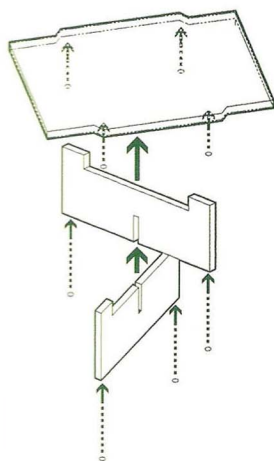
HOW TO MAKE



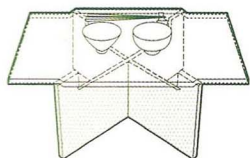
本誌P.138の型紙の拡大コピーと選んだ木材、アクリル板を持ちハンズの加工サービスカウンターへ(店舗により異なり、できない場合があります)。



工房でカットされた天板と脚台を受け取る。



凸部と凹部を組み合わせて脚台を作り、上から天板をのせる。この時、脚台の天板と床に接触する部分8箇所にクッション・ゴムを貼る。



食器をセッティングして、めしあがれ。

製作費用
(ひとり分) **9463** 円

製作時間 **3** 分

安く、楽しく、美しく——ハンズ利用者の本音を形に。
今すぐ誰でも作れるありがたき逸品。

東急ハンズで誰にでも作れるデザイン・プロダクト作ってください! という、無謀なお願いを快諾してくれたデザイナーの酒井俊彦さん。

「楽しんで、怠けて、安く、しかも手作り感のあるものを作りましょう。だってハンズでしょ。そういう気持ちでやって来る人いっぱいいますよね」

って一体、そんな夢のようなプロダクトって存在するのだろうか?

数日後、酒井さんから届いた2枚のシート(P.138)。このシートをハンズのおじさんに渡すだけで、立派な作品ができてしまうという。そして、完成したのが「ひとり膳」。美しいだけでなく、収納性にも優れ、何より、カットされた木材を組み合わせる天板をのせるだけ、という簡単な作り方に

脱帽。凄すぎる。

「ハンズの木材コーナーに行くと、ひとり暮らしをしてるような若い人が多い。そんな人たちにひとりでも気持ちよくごはんを食べてもらいたい。しかも、狭い部屋の中にものが溢れてこないように、片付けてしまえばスペースを取らないテーブルです」

酒井さんは海外デザイナーが来日すると、いつもハンズへの行き方の地図を描かされる。自身も月に一度はサンプル素材を探しにハンズに出かける。

「世界中探してもハンズのような店はないんじゃないでしょうか。品揃えだけではない。無茶な質問を投げかけても、いいヒントがもらえたりする。やはり、ハンズって世界一便利で楽できる場所でなくちゃって思うんです」

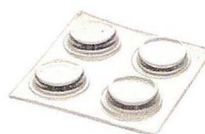
PARTS



キャスト アクリル シート
320×550×10mm
¥4735



桐(集成材) 300×910×9mm
¥619。1枚で両脚分カットできる。



クッション・ゴム(接着剤付) ¥283

木材加工費約¥1500、
樹脂加工費約¥2500

以上東急ハンズ新宿店

酒井俊彦



プロダクトデザイナー。1964年高知県生まれ。東京造形大卒。コーソーデザインスタジオを経て、1992年サカイデザインアソシエイツを設立。家電メーカーの先行デザイン開発、家具、プロダクト他のデザインを手掛ける。2004年にTITLEとのコラボでグッゲンハイム美術館のミュージアムグッズも制作。
<http://www.sakaidesign.com/>



酒井さんデザインの携帯電話の機能を併せ持つリモコン「Super Remocom」。レーザーバージョンのプロトタイプ。